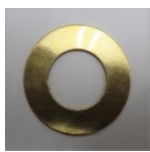
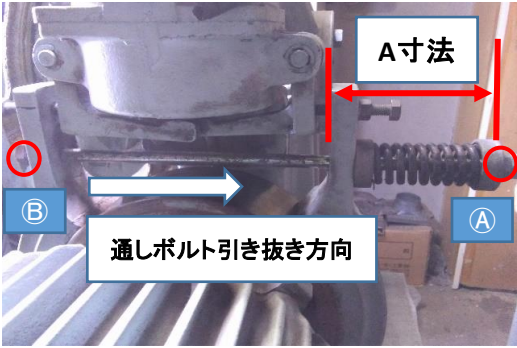
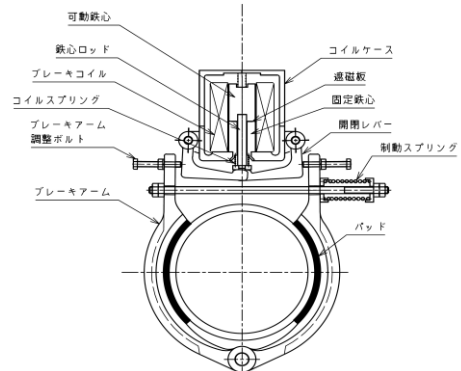
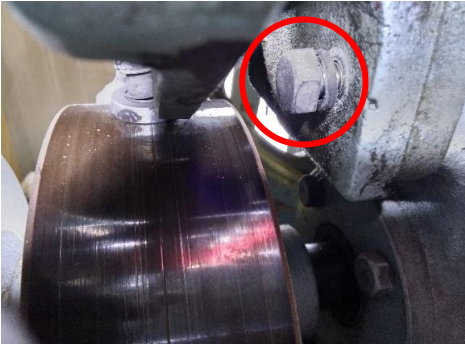
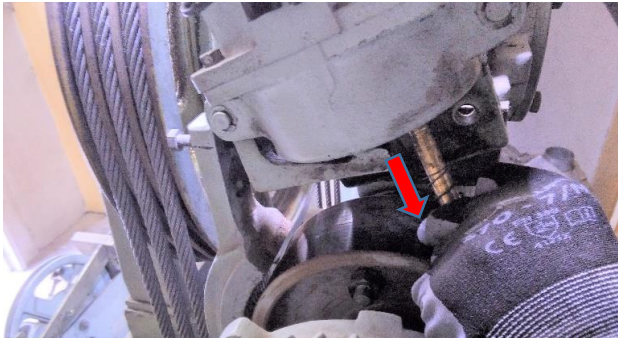
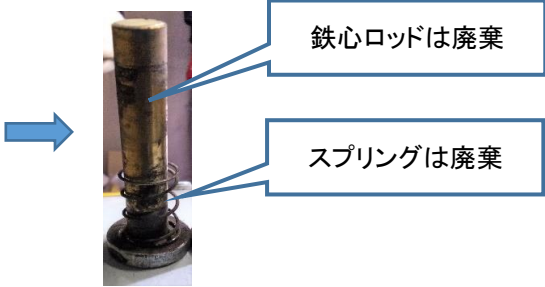
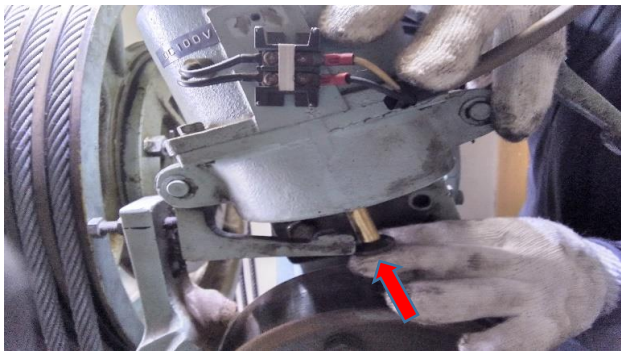
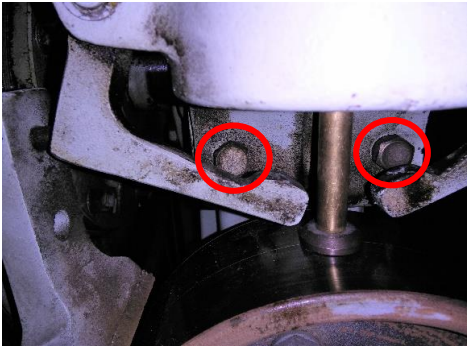
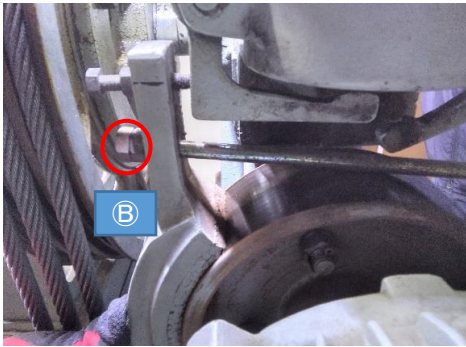
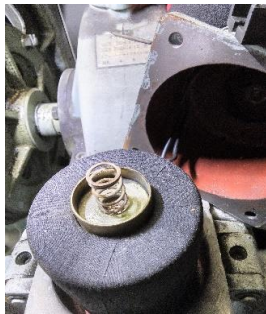
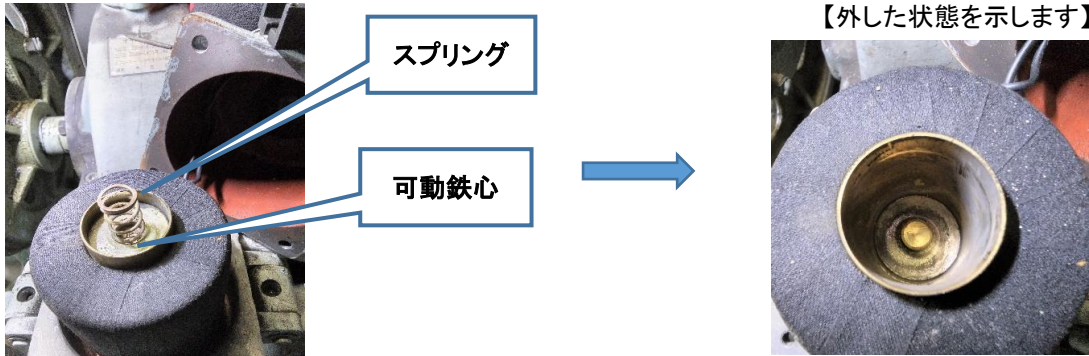
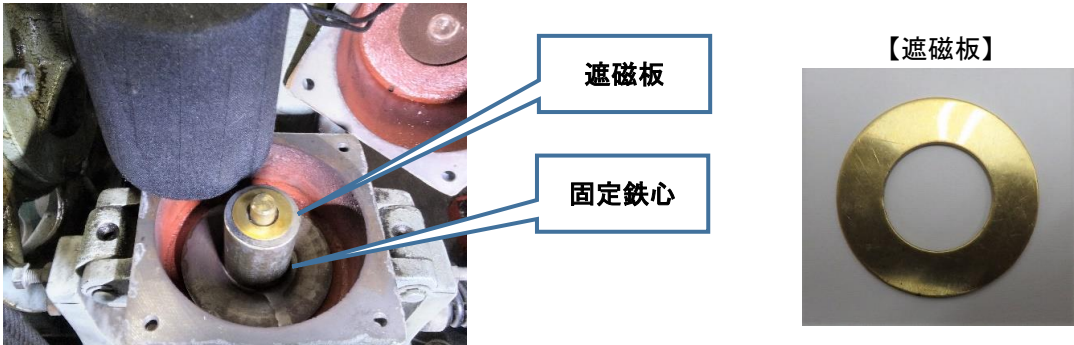
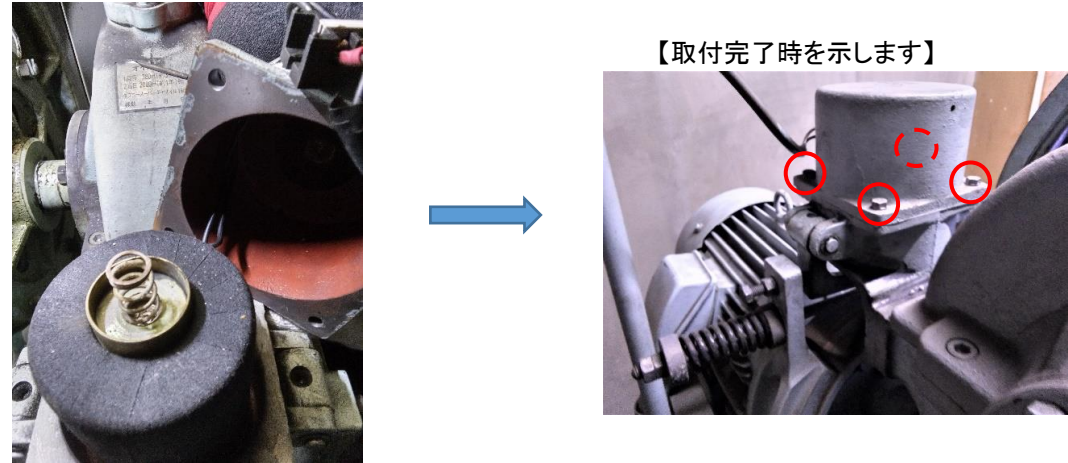


作業手順書		管理番号	21-401-006-01	
SKE400(E型ソレノイド:手動開放レバーなし)改善措置作業手順書		制定日	2021年3月3日	
		改訂日		
		承認	審査	作成
作業人数	2名			
改善部品	①鉄心ロッド:1本  ②遮磁板:1枚 			
総時間	60分(No.1とNo.2の時間は省く)			
No.	作業手順			
1 標準時間 5分間	作業前の段取り 作業責任者は、作業現場を確認し、状況に応じて、現場作業段取りの概略を同行の作業員に伝える。 作業責任者は、同行の作業員に対し、「安全作業」を改めて伝える。			
2 標準時間 15分間	【重要】 カゴは最上階にし、カウンターウェイトを最下階にしてバタ角材等で固定して下さい。 エレベータ制御盤電源停止OFF状態にしてから作業を開始する。			
3 標準時間 60分間	巻上機参考写真を示します。  【作業手順書を示します】 ①制動スプリング締込み量のA寸法をノギスで測定後、スパナ等で制動スプリングを止めている④ダブルナット及び反対側の通しボルトの⑤ダブルナットを外して下さい。 通しボルトを反シーブ側から引き抜くと、ブレーキが開放状態になります。  【シングルスプリングブレーキ構造図】  E型ソレノイド ②ブレーキアーム開放後は、鉄心ロッドが下に移動します。  ③部拡大箇所を示します。 			

No.	作業手順
	③ギヤケース側のブレーキコイルケースを固定しているボルト1本を外して下さい。 メインシーブ側のボルトは緩めた状態にして下さい。 A: 反メインシーブ側の右側固定ボルトを外して下さい。(赤丸部)  B: メインシーブ側の左側固定ボルトは緩めた状態にして下さい。(赤丸部)  ④コイルケースを斜めにして、既設の鉄心ロッドとスプリングを外して下さい。 * 既設の鉄心ロッドとスプリングは廃棄して下さい。   ⑤交換の鉄心ロッド側面全周にモリブデンングリスを均一に塗付してから鉄心ロッドを取付けて下さい。   【鉄心ロッド】 赤色部分がモリブデンングリスの塗付箇所

No.	作業手順
	⑥③項のギヤケース側のブレーキコイルケースを固定している左右のボルト(2本)をスパナ等で固定して下さい。(赤丸部)  ⑦通しボルトを取付けスパナ等で、⑧ダブルナットを締め付けて下さい。(赤丸部)  ⑧制動スプリング締込み量をA寸法(初期値)にして、スパナ等で⑨ダブルナットを取付けて下さい。 制動スプリング締込み量は、定期点検マニュアル(SKE-400、SKE-500、SKED-500、SKE-750、SKE-1000N、SKE-1000A、SKE-1500A、SKE-2000A)管理番号:13-401-008-07を参照下さい。  ⑨ブレーキコイルケースカバーを固定しているボルト(4本)をスパナ等で外して下さい。(赤丸部) 【ブレーキコイルケースカバーを外した状態を示します】  

No.	作業手順
	⑩可動鉄心とスプリングを取り外して下さい。  【外した状態を示します】 スプリング 可動鉄心 ⑪ブレーキコイルを上方向にずらして、固定鉄心の上部に遮磁板を取付けて下さい。 【コイルケース内部が汚れている時は、清掃して下さい】  遮磁板 固定鉄心 【遮磁板】 ⑫ブレーキコイルとスプリングを戻しブレーキコイルコイルケースカバーを取り付けてからスパナ等でボルト4本を固定して下さい。  【取付完了時を示します】

No.	作業手順
	⑬プランジャーストローク値測定方法及び調整手順について プランジャーストロークは、測定器が入らない為測定出来ない為、ブレーキアーム調整ボルトストロークを測定して調整します。 *ブレーキアーム調整ボルトストロークは、プランジャーストロークの1/2になります。 【注意】反メインシープ側のブレーキアーム調整ボルトストロークを測定して下さい。 メインシープ側のブレーキアーム調整ボルトストロークは測定が出来ない為、測定は不要です。 定期点検マニュアル(SKE-400、SKE-500、SKED-500、SKE-750、SKE-1000N、SKE-1000A、SKE-1500A、SKE-2000A)管理番号:13-401-008-07を参照下さい。 【作業手順書を示します】 No.1:ダイヤルゲージを使用して、ブレーキコイルケース側面又はギヤケース側面にマグネットで固定して下さい。 No.2:反シープ側のブレーキアーム調整ボルト中心部にダイヤルゲージ先端部を当ててブレーキ開放時のブレーキアーム調整ボルトストロークを測定して下さい。 No.3:ブレーキアーム調整ボルトストロークが基準値以下又は以上の時は、反メインシープ側のブレーキアーム調整ボルトを基準値内になるよう調整して下さい。 No.4:メインシープ側のブレーキアーム調整ボルトは、開閉レバー先端部が鉄心ロッド端部に接触するように調整して下さい。 (反メインシープ側のブレーキアーム調整ボルトストロークと同寸法になります) No.5:ストローク調整後は、電源を投入してブレーキ開閉動作を確認して下さい。 No.6:No.5でブレーキ開閉動作に異常が確認された時は、No.1～No.4の手順で再調整して下さい。 【側定時の参考写真】 ⑭作業完了後は、改善措置完了の「改善完了済」シールをコイルケース蓋上部に貼付けて下さい。 【参考写真】